

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信



海外ビジネス展開を支援する「山口県海外ビジネスサポートデスク」が開設しました！



東南アジアの中心に位置するシンガポールにデスクを設置しております。シンガポールのみならず、ベトナム、タイ、マレーシア、台湾のご相談も可能です。
デスクはシンガポールの中心部ラッフルズプレイスの近くに位置し、アクセスの良い立地となっておりますので、皆様シンガポールにいらした際は是非お立ち寄りくださいませ(その際は事前にご連絡お願いいたします！)。おすすめのご飯屋さんもご紹介します！

【サポートデスクメニュー】

海外展開に関する相談 各種調査・情報収集 セミナー開催 販路開拓支援 展示会出展支援

今月のデスク活動

キックオフセミナーを開催しました！

8月2日に山口県内にてリアル×オンラインのハイブリッドセミナーを開催。37名の方にご参加頂き、東南アジア市場の現状について理解を深めて頂きました。今回はシンガポールを代表して関が登壇しましたが、海外デスクには各国強力なパートナーがおり、デスクがチーム一丸となって企業様のご支援をいたします。

次回9月はベトナム、タイ、台湾を対象に機械金属分野のセミナーを開催予定です！



フードジャパン出展予定の企業様訪問へ

今年10月にシンガポールにて開催される日本食の展示会「フードジャパン」へ出展される予定の企業様へ訪問させて頂きました！支援させて頂く商品の特徴や海外展開の状況のヒアリング等、展示会に向けてお打合せをさせて頂きました。今後、資料作成、バイヤーマッチングと秋までの準備をしっかりとサポートさせて頂きます。



個別相談をお受けしております！

たくさんの企業様にご相談のお申し込みを頂いております。ありがとうございます。ご相談内容に合わせて個別面談を実施しており、先月は2社の企業様と打合せさせて頂きました。どんなご相談が来ているのか皆様にもちょこっとシェアさせて頂きます！

事例 1.

食品メーカー様「シンガポールと台湾へオンラインで海外バイヤーに商品を売り込みたい」

⇒利用メニュー **海外展開に関する相談、個別販路開拓支援**

既にご自身でも海外への売込はされていますが、シンガポールと台湾はまだ継続したお取引がないとの事で、商流構築を最優先に①ディストリビュータ、②小売店・飲食店の優先順位でバイヤーと商談をしていくことをお話のアドバイスを実施。オンラインでの個別商談に向け、デスクにて現地のディストリビュータのリストアップしております。

事例 2.

サービス企業様「シンガポールへ展開したい。市場の可能性を知る為に、競合他社、類似サービスの情報、パートナーや売り先となる企業の情報がほしい」

⇒利用メニュー **海外展開に関する相談、各種調査・情報提供**

同様のサービスのシンガポールでの普及状況、類似サービスについて、価格調査、サービス提供先の開拓等の希望調査内容をヒアリングさせて頂き、現在、現地調査員が調査中。情報を纏めレポートにてご提供させて頂く予定です。

(文責：株式会社日本アシスト 張)

現地からお届け！ 最旬情報 -シンガポール編-

新型コロナの影響で渡航が出来ず、現地の生の情報がリアルタイムで入って来ることが難しくなっていました。そんな皆さまの為、毎月各国の「旬」な情報を現地からお届けいたします！
第 1 回はシンガポールデスクの関よりお届け。コロナにより何が変わった？これからどうなるの？そんな疑問にお答えします。



「活気を取りもどしたシンガポール」

国境を簡単に超えられなくなった

東南アジアのハブとして、世界と繋がることで経済を発展させてきたシンガポール。シンガポールはコロナ禍の中、約 2 年半も国境を閉じ周辺諸国から自ら断絶し 1965 年の建国以来最大の経済危機に直面しました。シンガポールは内需が他国と比べても圧倒的に小さいため、外需を積極的に取りに行くということが大前提の国でした。すなわち外需の獲得に国の生存をかけて取り組んできた国でもありましたが、この新型コロナウイルスによって全てが変わってしまいました。

シンガポールを介しての人や物の「移動」が突然に消滅したことのインパクトは大きく、これまでの多くの経済的利益を享受してきた「移動」がもたらす経済のダイナミズムが一瞬のうちに消滅してしまいました。「移動」が消滅し、それにとまなう「需要」が消滅し、さらに「雇用」が消滅するという悪循環の中、国をあげて生き残るための戦いが続きました。

コロナ規制の大幅緩和の発表

部分的なロックダウン「サーキットブレーカー」を経て、感染拡大を警戒しながら様々な厳しい規制の下「ウィズ・コロナ」として経済活動を段階的に再開してきましたが、ついにリーシェンロン首相は 2022 年 3 月 24 日にコロナウイルスの感染拡大規制を大幅に緩和する発表をしました。特に約 2 年ぶりの野外でのマスク着用義務の撤廃の発表はテレビの前に歓声をあげる様子などが報道されました。また「皆がんばったね」と首相の発表をニュースで 観ながら家族と共に涙を流した私の知人もおりました。

コロナ禍で最も苦しめられたサービス業、飲食業

このコロナ禍の中で最も苦しめられたのはサービス業、特に飲食業でした。これは日本も同じだと思いますが、当初多くの大規模感染のクラスターが発生した原因が大人数による飲食によるものであるとのことでした。政府の規制として店内飲食の禁止、店内飲食の人数制限、酒類の提供規制(22時30分まで)等々が繰り返して長らく続き、安定して営業をすることはできませんでした。特に金融関連企業のオフィスが集中する地区は、オフィスへの出勤が事実上禁止され在宅勤務中心となると、オフィス勤務者に依存してきた売上が消滅し、高い家賃が負担できず多くのお店が閉店に追い込まれていきました。

それでも飲食業界で団結してソーシャルメディアで助け合い、デリバリーを充実させるなどできる限りの対策を各社続けてきましたが、それらも徐々に耐えきれなくなり、シンガポールの建国前から営業してきた私が好きだったローカルフードの名店が閉店せざるを得なくなったことはとても悲しく残念でした。政府もその状況を看過するだけではなく、現地従業員に対して助成金として支給される雇用支援制度を設定するなど手厚い支援をしてきました。しかし、解除されない規制の中で「私たち飲食業はこの国に必要とされていないのか」と超一流レストランの外国人シェフの落胆した書込みが SNS に書き込まれていたのが印象的でした。

経済活動再開 新型コロナウイルスと共存

2020年6月1日に部分的なロックダウンが解除された後、少しの間だけシンガポールの飲食業が賑わった時期がありました。それは海外にも行けず国内に閉じ込められた当地の皆さんが外出できるようになり、お金を使って楽しめるのが飲食店で食事することでした。その間、厳しい人数規制や営業時間規制が継続していたこともありますが、高級店ほど満席という状態が続きました。

そこで私もこの状態が続き、規制が解除され通常に戻るのではないかと、リスクを承知した上で2020年の年末から小さなレストランバーを開業しました。このコロナ禍の中、多くの自治体や企業様からオンライン商談会等の業務を委託させていただいていたのですが、その中で少しでも自身を買う側の立場として、素晴らしい日本の商材と向き合い、当地に広められたらと思ったのが大きな理由です。

オンラインでは生産者の想いや熱意がなかなか相手に伝わらず、特にワインやお酒の香りや、アパレル製品の触感はオンラインでは絶対伝わらないものであり、リアルな場所での商談がいかに重要かということを感じました。その後、日本の食材やお酒類を提供し続けながら、今は順調に運営できています。

現在シンガポールは経済活動を再開し、新型コロナウイルス・ゼロから、新型コロナウイルスとの共存を図る体制へと対策を転向し、ほぼコロナ規制は撤廃され、多くの外国人旅行者も隔離なしでシンガポールに入国しています。感染者が増加しても感染防止対策の引き締めは当面しないという政府からの発表もありました。実際に観光客の受け入れもはじまり、完全にコロナ前の活気を取り戻したシンガポールに置かれた山口県サポートデスクとして、皆様の一助になれば幸いです。

(文責：NIHON ASSIST SINGAPORE PTE.LTD. 関 泰二)

